

# 青葉の詩

あおほのうた  
発行責任者  
菊陽町立菊陽南小学校  
校長 渡邊浩文

## みなみっ子のがんばり!

## 言葉が元気をくれる!

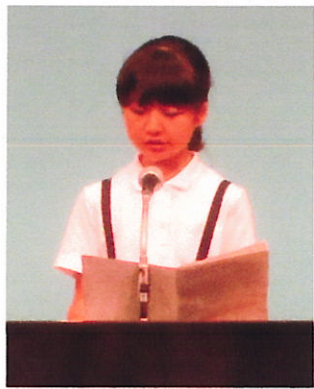
## みんなの前で話す! ドキドキだけど!!

台風に大雨。梅雨だけでも、なかなか雨が降らないなあと思っていたら、とんでもないことになりました。ちょっとビックリしましたが、大丈夫でしたか?

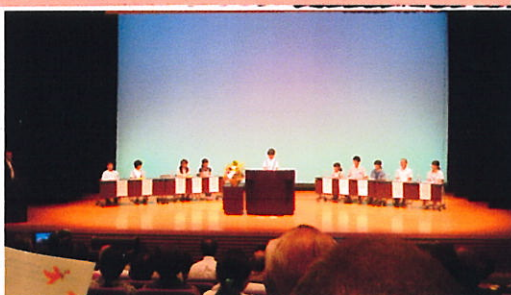
子どもたちの家などの被害はなかったようですが、ビニールハウスや農作物への被害が心配です。学校のグリーンパークの作物や大きく咲いていたひまわりなど倒されてしまいました。またしっかりと、立ち直ってほしいものです。

### 青少年のつどい

七月一日(土)町の図書館ホールにおいて、社会を明るくする運動の一つとして、青少年のつどいがありました。そこでは、各小中学校からの代表が、意見発表を行



### ~明るく住みよい社会をめざす~青少年のつどい



菊陽南小学校からは、六年生の神崎桐子さんが出場し、ステージでの発表を行いました。

昨年の地震で転校することになり、南小学校にやって来たこと、ここで出会った友だちや地域の人々。この地域にある鼻ぐり井手や新たな発見と学び。それらが自分に与えた影響。そして自分の夢に向かって歩みつづけること。自分の言葉で、しっかりと話してくれました。

## 全国大会出場!スナッグゴルフ! 7月16日福島 ご支援に感謝します

5月の県大会の様子は、第4号の青葉の詩でもお知らせしましたように、同ストロークながら規定のため3位となり、全国大会への出場権は得られませんでした。ところが、ところがです。他県で、出場辞退のチームがあったらしく、本校にその一枠がまたってきました。ちょっとビックリでしたが、一時は涙を呑んだ全国大会に行けるとあって、喜び倍増。

しかしながら、大会は福島県の西白河郡での開催。費用が・・・と心配していたところ、南小校区活性化協議会、区長会、南部町民センター、白菊園、菊陽中学校、菊陽学園、菊陽町役場、その他区民や関係者職場の皆様から、物品販売に協力していただいたり、寄付をいただいたりしました。

おかげさまで、県大会出場の選手全員で福島に行くことができます。本当に感謝しております。と同時に、本校区のあたたかさ、学校への期待をひしひしと感じております。

福島は、東日本大震災で大きな被害を受けたところです。その後の原子力発電所の事故で、未だに住むことができない地域も抱えています。坂本彩さんが童話発表会で取り上げてくれた「希望の牧場」は、福島の話です。放射能汚染で売ることができない牛を殺すこともなく、ただひたすら飼いつづける話です。そこには、自分の役割をしっかりと果たしていくことが、震災に決して負けない心、震災から立ち上がる勇気を示していくことだと書かれています。

地域の期待と熊本の復興、全国からの支援に対するお礼も込めて、ナイスプレーを期待します。



町の子どもたちの発表も、昨年の地震で考えさせられたことを取り上げたものが多かったです。確かに、地震は不幸な出来事だったし、なかったほうがよかったことです。でも、起こってしまったことは、どうしようもありません。桐子さんの発表から、また町の子どもたちの発表から、地震で経験したことを力に変えること、前を向き未来を考えることは何かを思い知らされました。会場にいた町民の皆さんが、そう感じられたことだと思えます。

### 校内童話発表会

六月三十日(金)に各学年の代表による童話発表会が開かれました。

- 一年 米満 由依さん
  - 二年 友田 幸葵さん
  - 三年 山下 陽平さん
  - 四年 歩瀆 旭さん
  - 五年 山下 優太郎さん
  - 六年 坂本 彩さん
- ねこのリボンといぬのサンゴ  
ダイヤロン すっとそばにいるよ  
雪のかえりまち  
希望の牧場

それぞれ、代表としてしっかりと発表してくれました。お話を暗記するのはもちろん、自分の中でしっかりと消化し、自分の体全体で人に伝えていくことは、とても難しいことです。南小の子どもたちは、みなは、みんな果敢にチャレンジしてくれています。



審査の結果、学校の代表は、歩瀆さんと坂本彩さんになりました。七月二十六日(水)に図書館ホールで開かれる町の大会に出場します。しっかりと頑張ってください。応援しています。



です。一人一人の頑張りに、拍手を送ります。